

総合工学委員会・機械工学委員会合同分科会の設置について

分科会等名：工学システムに関する安全・安心・リスク検討分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	○総合工学委員会 機械工学委員会
2	委員の構成	25名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	<p>本分科会は、安全は工学だけではなく、人文社会科学が深く関わっていることを念頭に、安全の理念をとりまとめ活動を行っている。第25期は、見解1件、報告1件、記録2件を公表した。</p> <p>第26期はこれまでの活動を受けて、今後益々複雑多様化する社会とそれに寄与する工学システムに関する安全・安心・リスクの体系化とともに、リスク評価のフレームワークや具体的手法について検討を行い、その有効性と課題を明らかにする。また、カーボンニュートラル施策の影響フレーム構築、工学システムの社会安全目標の社会実装、安心感のモデル化について議論する。さらに学協会の横断的な活動である「安全工学シンポジウム」の開催を引き続き担当する。</p>
4	審議事項	<ol style="list-style-type: none"> 1. 安全・安心・リスクの体系化 2. 安全におけるリスクアプローチ適用 3. 安心感のモデル化 4. 老朽及び遺棄化学兵器の廃棄に係るリスクに係る審議に関すること
5	設置期間	令和5年12月22日～令和8年9月30日
6	備考	本分科会が毎年主催する「安全工学シンポジウム」は、1970年に始まり、現在は34学協会が共催、11学協会が協賛して、総合知による議論を推進している。日本の科学技術分野における「安全」を基本とした研究テーマの発表・議論の場である。なお、必要を認めた場合は、関連小委員会・WGを設置し機動的に審議を行う。